レストケア出水
在宅医療センター新聞

第１６８号
令和６年４月

第8回　施設研究発表会

3月19日に当センター内で第8回施設研究発表会を開催しました。日頃の取り組みをまとめて発表する事で、各部署、他職種間で情報共有を行い「横のつながり」を深める事が出来ました。これからも、利用者やご家族に寄り添い、より良い援助・支援が出来るように、日々研鑽に励みたいと思います。

～演題紹介～

【介護】利用者・家族の心に寄り添った「介護」の実現
～認知機能の低下や不穏状態に陥った事例～

【カフェ】OPENへ向けての取り組み(売れ筋紹介など)

【保育・療育】児童発達支援での取り組みについて
～重症心身障害児～

【看護・リハビリ】病態と介護度が合わず必要な時に必要なサービスを受けられなかった余命未告知患者
～患者と患者に関わる人々たちの葛藤～

研究発表会の風景

令和6年　避難訓練

3月7日にソルトスタジオからの火災を想定した避難訓練を実施しました。ディ・イブニングセンター癒の利用者様にも避難訓練に参加していただき、誘導や連絡等の連携などもスムーズに行うことができました。ただ、訓練として前もって準備をしていたから対応できたところも大きく、実際に何かが起きたときに利用者様に安全と安心を提供できるようなセンターとして、今後も様々な訓練を重ね職員に浸透させていこうと思います。

職員のつぶやき

『二度とない人生だから念ずれば花ひらく』にっこり微笑むお地蔵様の足元に刻まれていた。新たな出会いに感謝した昨年。日々、悪戦苦闘している今に幸せを感じる。還暦過ぎたと守りに入らず、もう一花咲かせると念じる!!さて、今日も笑顔で安全運転！「ありがとう」と「ありがとう」を繋ぐ!!

61歳・男性

年明け未曾有の災害に見舞われた方々。一瞬にして当たり前が当たり前でなくなる。今、自分に出来る事は、日々の当たり前の生活や仕事の様々な場面で感謝の気持ちを持つこと。些細な事にも気づきを学び、失敗にも反省と明日へのチャレンジ精神で日々、感謝の気持ちを大切にして頑張ろう。

60歳・男性